

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科松岡ゼミ

2016 年度春学期・フィールドワーク

報告書



早稲田大学国際学術院・アジア太平洋研究科

松岡研究室

2016 年 7 月 1 日

1. 日程

2016 年 6 月 1 日（水） 13:30～16:00

2. 訪問先

独立行政法人 造幣局（東京支局）

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-42-1

Tel. 03-3987-3153

3. 目的

造幣局は、近代国家としての貨幣制度の確立を図るため、明治新政府によって大阪の現在地（大阪市北区）に創設され、平成 15 年 4 月 1 日から、独立行政法人造幣局となった。造幣局は、環境問題の社会的重要性を鑑み、事業運営に当たっては、省エネルギーその他の環境保全に努めること、環境関連法令の規定などを確実に遵守することを通じて、環境面において事業者としての責務を果たしている。松岡研究室が、ISO9001 規格及び ISO14001 規格が要求する事項を着実に実施する造幣局一東京支局でフィールドトリップを行った。勉強会では、日本の貨幣の歴史および造幣局一東京支局硬貨の製造、勲章・褒章及び金属工芸品等の製造の流れを勉強した。そして担当者に貨幣製造の技術や流れなどについて質問をし、造幣局が貨幣製造の取り組みにより一層知見を深めた。

4. 参加者

修士課程 5 名、博士課程 4 名、引率・松岡教授の計 10 名が参加した。

修士 1 年	Li Chuping
修士 1 年	Zhang Yan
修士 1 年	フランシスコ ルイシ
修士 1 年	Nomin
修士 2 年	Konin Koffi
博士課程	李 洸昊
博士課程	Nguyen Ngoc Quynh
博士課程	Qin Ziyi
博士課程	胡 筵

教授

松岡 俊二

5. 独立行政法人 造幣局(東京支局)について

独立行政法人造幣局は、硬貨の製造、勲章・褒章及び金属工芸品等の製造、地金・鉱物の分析及び試験、貴金属地金の精製、貴金属製品の品位証明（ホールマーク）などの事業を行う日本の行政執行法人である独立行政法人である。

造幣局は、近代国家としての貨幣制度の確立を図るため、明治新政府によって大阪の現在地（大阪市北区）に創設され、1871 年 4 月 4 日に創業式を挙行し、当時としては画期的な洋式設備によって貨幣の製造を開始した。造幣局は、貨幣の製造のほか、勲章・褒章及

び金属工芸品等の製造、地金・鉱物の分析及び試験、貴金属地金の精製、貴金属製品の品位証明（ホールマーク）などの事業も行っている。2003 年 4 月 1 日から独立行政法人造幣局となっている。また、大阪市に本局、東京都及び広島市に支局をもっている。

東京支局の沿革は、以下の通りである。

- 1879 年 大蔵省内に造幣局東京出張所が設立され、金銀の輸納業務を担当。
- 1907 年 造幣局東京出張所廃止。
- 1929 年 7 月 貴金属製品の品位証明を主業務とする造幣局東京出張所設立（東京市麹町区）。
- 1939 年 11 月 業務拡充のため現所在地（東京都豊島区）に移転し、勲章の製造開始。
- 1941 年 貨幣の製造を開始。
- 1943 年 9 月 造幣局東京支局となる。
- 2003 年 4 月 独立行政法人造幣局東京支局となる。

6. 見学コース

受付→映写室（事業紹介のビデオ上映）→博物館見学（貨幣製造工程紹介、貨幣・勲章等の展示）→工場見学（プルーフ貨幣製造工程）→プルーフ貨幣のお土産



造幣局東京支局の ISO9001・ISO14001 規格



造幣東京博物館

ビデオ上映による事業の紹介

映写室で、英語バージョンのビデオ上映により、造幣局の歴史や活動などが紹介された。造幣局では ISO9001 規格および ISO14001 規格を実施しており、環境への取組も行っていることが分かった。ビデオが終わったら博物館に見学をする。



ビデオ上映前の事前説明

博物館見学

博物館では、プルーフ貨幣やら流通貨幣の製造工程やら勲章の製造工程が紹介された。造幣局の様々な偽物対策も紹介された。特に、500 円の場合は、過去に偽物の事件が発生し、問題となったようである。その偽物を防止するため、500 円の 2 つのゼロの中央部分を上と下に傾いて見ると、500 円の文字に縦の線が出現する。また、500 円の外側には、斜めギザも入れてあり、これは世界初だという。

貨幣の製造工程に関しては、8 つのステップがある。そのステップは、溶解→熱間圧延→冷間圧延→圧全→エッジング→洗浄→圧印・検査→計数・袋詰めである。造幣局は貨幣製造工程を行っているが、造った貨幣は日本銀行に送って、日本銀行が貨幣の価格を課するという。また、記念貨幣として都道府県の記念貨幣も製造している。



博物館での説明

最後に、プルーフ貨幣製造工程を見学した。プルーフ貨幣はきれいで、流通貨幣と比べて、特別な工程を用いているという。プルーフ貨幣製造工程も 8 ステップで製造されていた。

- ① 円形脱脂
- ② 円形焼鈍
- ③ 洗浄
- ④ 円形研磨
- ⑤ 圧印
- ⑥ 防錆塗装
- ⑦ 検査
- ⑧ ケースの組み込み

以上

記録：張 艶（2016 年春学期・M1）、クイン（2016 年春学期・D1 ゼミ代表）